

住みよく魅力ある島づくり計画の概要

平成25年3月
企画部地域・離島課

住みよく魅力ある島づくり計画の構成

- 沖縄県は全国でも有数の離島県（160の島々からなり、39の有人離島を有する。）
- 沖縄県の離島は広大な海域に点在し、小規模離島が多いことが特徴
- 過去4回離島振興計画を策定し、離島振興を推進

〔第1章〕

総説

◆計画の策定意義、性格、計画期間及び目標等を提示

〔第2章〕

計画の基本方向

- ◆離島振興の基本的課題と基本方向を提示
- ※離島振興の基本方向
 - ・離島における定住条件の整備
 - ・離島の特色を生かした産業の振興と新たな展開

〔第3章〕

振興施策の展開

◆施策の展開方向とめざす姿、成果指標及び主な課題と主な取組を提示（沖縄21世紀ビジョン実施計画に相当するものである。）

〔第4章〕

圏域別振興方向

◆圏域別の振興の基本方向及び圏域内の市町村別の概況、現状と課題、主な取組等を提示

住みよく魅力ある島づくり計画の特徴について

計画	新沖縄県離島振興計画 (平成14～23年度)	住みよく魅力ある島づくり計画 (平成24～33年度)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ◆国民の健康保養に寄与する特色ある地域として整備することを目標の一つとした。 ◆自然環境の保全・活用を基本方向の冒頭に位置づけ。 ◆基本方向に地域間交流の促進による島の活性化の項目を新設 ◆各施策の展開をわかりやすくするため、参考資料として主要事業等一覧を添付 	<ul style="list-style-type: none"> ◆沖縄21世紀ビジョン基本計画で定めた離島振興の基本方向「定住条件の整備」と「離島の特色を生かした産業振興」の二つを柱として、それぞれに7つの基本施策を提示した。 ◆交通コストの軽減や教育に係る負担の軽減など、定住条件の整備に関する新たな施策を盛り込んだ。 ◆施策評価等に活用するため、新たに「成果指標」を設定し、5年目を目途に施策効果等の評価を行い、必要に応じ計画の見直しを行うこととした。 ◆第4章の圏域別振興方策は、同一圏域内の市町村でも抱えている課題が大きく異なる事例もあることから、離島市町村ごとに「現状と課題」及び「主な取組」等を整理した。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力に満ち、個性豊かで潤いのある地域社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ◆離島がその潜在力を発揮し、希望と活力にあふれる豊かな地域社会の実現
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆離島空港整備(新石垣空港、与那国空港) ◆離島架橋(古宇利大橋、野甫大橋) ◆地上デジタル放送推進事業 ◆救急医療用ヘリコプター活用事業 ◆小規模離島航空路利用活性化事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業 ◆離島児童・生徒支援センター(仮称)整備事業 ◆島しょ型福祉サービス総合支援事業 ◆専門医派遣巡回診療事業 ◆離島地区情報通信基盤整備事業 ◆農林水産物流通条件不利性解消事業 ◆沖縄離島体験交流促進事業 ◆離島観光活性化促進事業 など 479の施策を提示

住みよく魅力ある島づくり計画の名称について

1 計画の名称

住みよく魅力ある島づくり計画
— 沖縄 21世紀ビジョン 離島振興計画 —

2 理由

- 本計画の離島振興の基本方向は、定住条件の整備と離島の特色を生かした産業振興であること。
- 当該基本方向を県民に周知しやすい名称とした。
- 副題は、県民の参画と協働のもとで策定した沖縄県初の長期的な基本構想「沖縄 21世紀ビジョン」を受けて、その目的を実現するための総合的な離島振興策を部門別に体系化した計画であることを表している。

3 これまでの計画の名称

	離島振興計画の名称	沖縄振興計画等の名称
昭和51年度～ 昭和60年度	第1次沖縄県離島振興計画	第1次沖縄振興開発計画 (S47～S56年度)
昭和60年度～ 平成3年度	第2次沖縄県離島振興計画	第2次沖縄振興開発計画 (S57～H3年度)
平成4年度～ 平成13年度	第3次沖縄県離島振興計画	第3次沖縄振興開発計画 (H4～H13年度)
平成14年度～ 平成23年度	新沖縄県離島振興計画	沖縄振興計画 (H14～H23年度)

住みよく魅力ある島づくり計画の概要

1 計画策定の意義

- ◆ 離島地域と本島地域の格差がある。
 - ◆ 条件不利性に起因して様々な分野で課題が残されている。
 - ◆ EEZの保全など国益に貢献している。
 - ◆ 多様な自然、文化等の魅力を有している。
 - ◆ 沖縄21世紀ビジョンにおいて離島振興を重要課題として位置付けている。
 - ◆ 沖縄振興交付金制度が創設された。
- 以上を踏まえ、離島振興の基本方向と主な取組等を明らかにするために計画を策定。

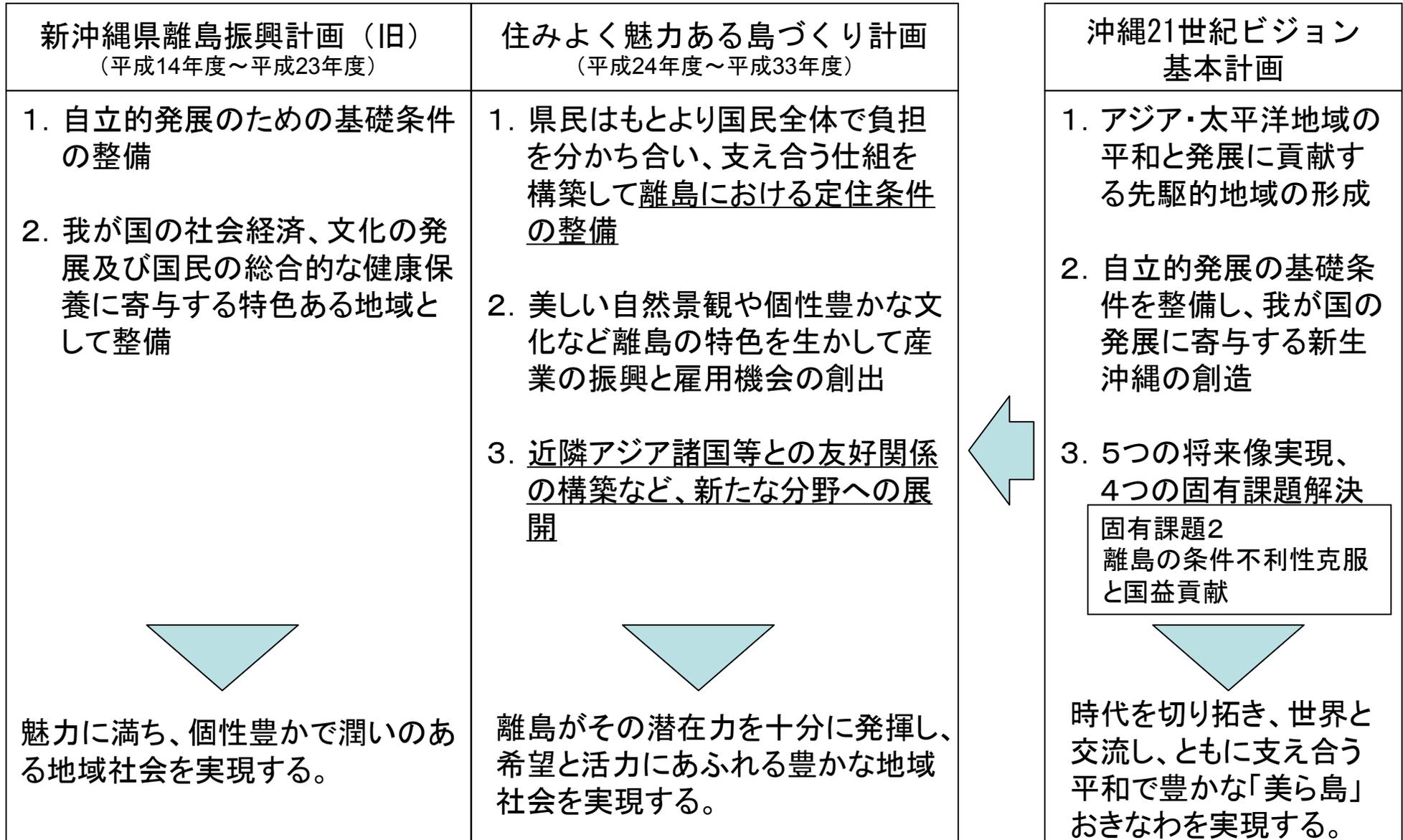
2 計画の性格

- ◆ 沖縄21世紀ビジョン基本計画で示された基本方向等を踏まえ離島振興を図るための総合的計画。
- ◆ 沖縄県の離島振興施策の基本となるもの。
- ◆ 離島市町村、住民、企業、団体、NPOなど、離島振興に取り組む多様な主体の自発的な活動の指針となるもの。

3 計画の期間

平成24年度～平成33年度（10年間）

4 計画の目標



5 離島振興の基本的課題

(1) 離島を取り巻く時代潮流

リスクとチャンスを伴い大きく変化しており、時代潮流を見極めた施策の立案が必要。

- ア 少子高齢化の進行と総人口減少
- イ 国の公共事業関係費の縮減傾向
- ウ 高度情報化の進展
- エ 訪日外国人の増加
- オ 離島の役割の再評価と離島振興の気運の高まり
- カ 沖縄振興交付金制度の創設

(2) 離島の地域特性

各離島の地域特性に由来する条件不利性を踏まえたきめ細かな施策展開が必要。

- ア 遠隔性：移動・輸送コストが生活を圧迫。
- イ 散在性：島ごとにサービス提供体制を構築する必要があることから、高コスト構造となり住民負担が大きい。
- ウ 狭小性：病院や介護施設など基礎的生活条件の整備が不十分で産業振興も総じて遅れている。

(3) 基本的課題

- ア 人口の減少
 - H22国調はほとんどの離島市町村が減少
- イ 基幹産業の縮小
 - 建設業と農業の就業者数が過去10年間で大きく減少
- ウ 市町村内純生産の減少
- エ 入域観光客数の減少傾向

- ①定住条件の整備（交通コストの低減、基礎的生活条件の整備等）
- ②離島の特色を生かした産業の振興

6 振興施策の展開

離島振興の目標である「離島がその潜在力を発揮し、希望と活力にあふれる豊かな地域社会の実現」を目指し、今後10年間に於いて着実に推進していくべき施策の体系(施策数479)。

第1節 離島における定住条件の整備 (施策数256)

【大項目(7)】	【中項目(26)】【小項目(23)】
1 自然環境の保全・再生・適正利用	(1) 生物多様性の保全 (2) 陸域・水辺環境の保全 (3) 自然環境の再生 (4) 自然環境の適正利用 (5) 県民参画と環境教育の推進
2 安らぎと潤いのある生活空間の創造	(1) 持続可能な循環型社会の構築 ア 3Rの推進 イ 適正処理の推進 (2) 低炭素島社会の実現 ア 地球温暖化防止対策の推進 イ クリーンエネルギーの推進 ウ 低炭素都市づくりの推進 (3) 生活環境基盤の整備 ア 安定した水資源の確保と上水道の整備 イ 下水道等の整備 ウ 情報通信基盤の整備 エ 電力エネルギーの安定供給 オ 住宅の整備促進 (4) 価値創造のまちづくり イ 沖縄らしい風景・まちづくり イ 花と緑あふれる県土の形成
3 交通・生活コストの低減	(1) 交通・生活コストの低減 (2) 石油製品の価格安定化
4 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化	(1) 航空交通 (2) 海上交通 (3) 陸上交通 (4) 交通ネットワークの充実
5 教育及び文化の振興	(1) 公平な教育機会の確保及び教育に係る負担の軽減 (2) 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 (3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 (4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 (5) 文化の振興
6 健康福祉社会の実現	(1) 健康・長寿おきなわの推進 ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進 イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成 (2) 子育てセーフティネットの充実 (3) 健康福祉セーフティネットの充実 ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり イ 障害のある人が活躍できる環境づくり ウ 県民ニーズに即した保健医療サービスの推進 エ 福祉セーフティネットの形成 オ 保健衛生の推進
7 安全・安心な生活の確保	(1) 共助・共創型地域づくりの推進 ア 住民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進 イ 交流と共創による農山漁村の活性化 (2) 社会リスクセーフティネットの充実 ア 安全・安心に暮らせる地域づくり イ 災害に強い県土づくりと防災対策の強化 (3) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決

第2節 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 (施策数223)

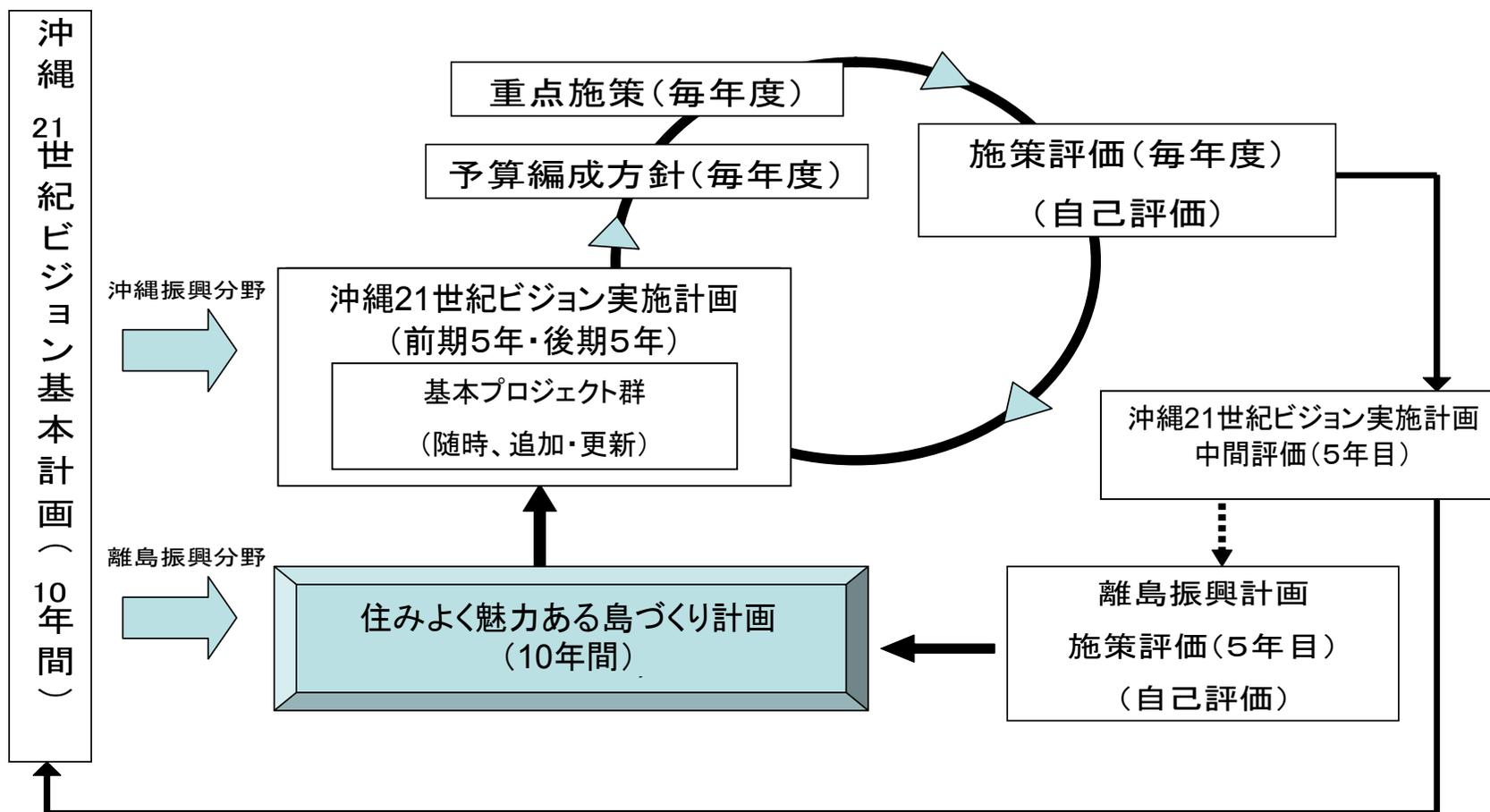
【大項目(7)】	【中項目(30)】
1 観光リゾート産業の振興	(1) 離島観光ブランドの確立 (2) 市場特性に対応した誘客活動の展開 (3) 観光客の受入体制の整備 (4) 観光人材の育成 (5) 産業間連携の強化
2 農林水産業の振興	(1) おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 (2) 流通・販売・加工対策の強化 (3) 農林水産物の安全・安心の確立 (4) 担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 (5) 農林水産技術の開発と普及 (6) 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 (7) フロンティア型農林水産業の振興
3 離島を支える地域産業の振興	(1) 中小企業等の支援体制の充実 (2) 特産品開発などマーケティング支援等の強化 (3) 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興 (4) 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興 (5) 情報通信関連産業の振興 (6) 建設産業の活性化と新分野・新市場の開拓
4 離島の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出	(1) ソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出 (2) 環境関連産業の戦略的展開 (3) 海洋資源調査・開発に向けた取組の推進
5 科学技術の振興	(1) 研究開発成果の技術移転による地場産業の高度化 (2) 科学技術を担う人づくり
6 雇用対策と多様な人材の育成・確保	(1) 雇用機会の創出・拡大と求職者支援 (2) 若年者の雇用促進 (3) 職業能力の開発 (4) 働きやすい環境づくり (5) 離島を支える多様な人材の育成・確保
7 交流と貢献による離島の新たな振興	(1) 地域間交流の促進 (2) 国際協力・貢献活動の推進

7 計画の効果的な実施

沖縄21世紀ビジョン実施計画における毎年度の施策評価の結果等を活用し、離島振興施策も見直し、改善を行う。

また、5年目を目途に、施策効果や施策の基本方向等について点検・評価を行い、必要に応じて本計画の見直しを行う。

【計画の効果的な実施の流れ】



住みよく魅力ある島づくり計画の策定経緯

〔平成21年度〕

- ①離島活性化検討委員会の開催(3回)
「今後の離島活性化のための施策等についての提言」をとりまとめ。
- ②沖縄県振興審議会に離島過疎地域振興部会の設置・開催(3回)
離島・過疎地域の振興に関する意見をとりまとめ。

〔平成22年度〕

- ①沖縄県振興審議会 離島過疎地域振興部会の開催(3回)
沖縄振興計画等総点検報告書における離島・過疎地域の活性化に関する意見をとりまとめ。
- ②離島市町村長等との意見交換の実施
新たな離島振興策に関する意見交換を実施

〔平成23年度〕

- ①沖縄県振興審議会 離島過疎地域振興部会の開催(6回)
新たな計画の基本的考え方の審議、沖縄21世紀ビジョン基本計画(案)の審議

〔平成24年度〕

- ①沖縄県離島過疎地域振興対策会議幹事会の開催(4回)
新たな離島振興計画の策定に関する審議
- ②離島関係市町村企画担当課長会議の開催
「新たな離島振興計画の策定の考え方」について説明、意見交換
- ③圏域別に離島市町村との意見交換の実施
新たな計画に盛り込む施策等について、離島市町村に意見照会するとともに、圏域別に離島市町村と県関係部職員との意見交換の実施
- ④新たな離島振興計画(案)に対する離島市町村への意見照会
- ⑤沖縄県離島過疎地域振興対策会議の開催
住みよく魅力ある島づくり計画(最終案)の審議
- ⑥住みよく魅力ある島づくり計画の決定(知事決裁)